



特集

みんなで作ろう 『SAGA 2024』



● 問合せ 国スポ・全障スポ推進課 (☎ ☎ 23-2198)

SAGA 2024
 国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
 すべての人に、スポーツのチカラを。

今年、いよいよ『SAGA 2024 (第78回国民スポーツ大会・第23回全国スポーツ障害者スポーツ大会)』が開催されます。

昨年は、各競技のリハーサル大会を開催するなど、本大会に向けた準備を進めてきました。

SAGA2024は、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人がスポーツを『する』『観る』『支える』といったさまざまなスタイルで楽しみながら参加できる大会を目指しています。

今回の特集は、SAGA2024を『支える』という視点から、開催競技をサポートする学生や大会のボランティア、協賛で大会を支える企業などを紹介します。

この特集をきっかけにして、ボランティアや協賛に参加し、一緒にSAGA2024を支えてみませんか。

まずはチェック！



国スポ・全障スポ
 推進課 大塚聡子

SAGA2024
市内競技の開催日

イマリンビーチや国見台球場などを舞台に、5種目が開催されます。

【国民スポーツ大会】

▽オープンウォータースイミング競技 (男子・女子)
 9月11日 (水)

▽ビーチバレーボール競技 (少年男子・少年女子)
 9月14日 (土) ～ 17日 (火)

▽ホッケー競技 (成年男子・成年女子・少年男子・少年女子)
 10月5日 (土) ～ 9日 (水)

▽軟式野球競技 (成年男子)
 10月11日 (金)・12日 (土)・14日 (月・祝)

▽【全国障害者スポーツ大会】
 フライングディスク競技

10月26日 (土) ～ 28日 (月)
 (身体・知的)

高校生 インタビュー



SAGA2024の運営には、競技会場での受付など、さまざまな役割で多くの人たちの協力が必要になります。

市内の高校生には競技をサポートする競技補助員として参加してもらいます。一部の生徒は、すでに昨年開催されたリハーサル大会で活動を経験しました。

ここでは、リハーサル大会に競技補助員として参加し、本大会にも参加を予定している高校生に、リハーサル大会で活動してみた感想と本大会に向けた意気込みを聞きました。



敬徳高校 2年
幸島 寛汰さん

リハーサル大会に参加して

ビーチバレーボールのリハーサル大会で、コート内の砂地をならす『サンドレベラー』を担当しました。初体験のサンドレベラーは難

しかったです。審判からの指示が無くて、自分でタイミングを判断し、コートを整備する必要があります。結局タイミングが最後までわからず苦戦しましたが、新しいことにチャレンジでき、また、観る方では選手たちが天候の変化にすぐに対応し、プレーする姿に驚きました。

本大会に向けての意気込み

本大会でもサンドレベラーを担当して、今度はタイミングをつかみたいですし、全国から参加する選手たちにおもてなしをしたいと思います。



伊万里実業高校 2年
幸島 紗々乃さん

リハーサル大会に参加して

ビーチバレーボールとホッケーのリハーサル大会で『ラインジヤッジ』や『ボールサーバー』などを担当しました。どちらのリハーサル大会も

緊張しましたが、特にホッケーは、ルールが分からなかった。担当したボールサーバーは、ラインから出た位置にボールを投げて供給する役目で、試合を重ねるごとに、いい感じに供給できたと思います。

本大会に向けての意気込み

全国レベルのスポーツを身近で観ることができ、楽しみにしていますし、全国から来る人たちに伊万里の良さを知ってもらえるような活動にも関わっていきたいです。

リハーサル大会に参加して

ビーチバレーボールのリハーサル大会で『ラインジヤッジ』や『得点係』を担当しました。ラインジヤッジはかなり緊張しました。バレー部に所属し

ているのでルールは分かりませんが、ビーチバレーボールでは、ラインジヤッジ1人が見るラインが、バレーよりも多く、またラインに砂がかかるため見えづらくて驚きました。

また、九州各地から集まった強豪校の生徒たちの『戦う気持ち』を身近に感じることができて、とても刺激を受けました。

本大会に向けての意気込み

受験勉強がありますが、全国から集まる選手たちのプレーを間近で観ることができる貴重な機会なので、ぜひ参加したいです。



伊万里高校 2年
川畑 はるかさん

リハーサル大会に参加して

私が伊万里出身なので、先生から声をかけてもらい、ビーチバレーボールのリハーサル大会に参加して『ラインジヤッジ』や『得点係』などを担当しました。

昔からバレーをやっている、全国大会での経験もあったので、ラインジヤッジは緊張しませんでした。ビーチバレーボールを初めて見て、選手同士のチームワークの良さや砂場に足を取られながらもプレーできていることに驚きました。

本大会に向けての意気込み

全国から集まったチームが繰り広げる熱戦を観ることが楽しみです。点数を付けたら、ラインジヤッジをしたりして大会を支えながら、選手のプレーを間近で楽しみたいと思います。



有田工業高校 1年
松尾 健誠さん

観光ボランティアガイドの会・手話の会 インタビュー



SAGA2024でボランティアとして参加してもらう予定の伊万里市観光ボランティアガイドの会と伊万里市手話の会の人たちにボランティアを始めたきっかけや、やりがい、本大会に向けた意気込みなどを聞きました。



伊万里市観光ボランティアガイドの会
高森 美和子さん

Q 観光ボランティアを始め
たきっかけは何ですか

伊万里の歴史をもっと知りたい、また、何か新しいことを始めたいという気持ちがありました。あまり深く考えず、軽い気持ちで観光ボランティアガイドの会に入会し、活動を始めました。

Q 現在どのような活動をされていますか

観光ボランティアガイドの会27人の仲間と、伊万里市陶器商家資料館（丸駒）を拠点に市街地や大川内山の観光ガイドなどを行っています。

Q 活動を行うなかでのやりがいは何ですか

やっぱり喜んでもらえることです。ガイドをする中で、いろんな人と出会うことが楽しいですし、私自身、もっと伊万里のことが知りたくなりました。

Q SAGA2024で楽しみにしていることを教えてください

全国各地から集まる人たちとの出会いを楽しみにしています。皆さんに伊万里を知ってもらい、何か思い出を持って帰ってもらえるように、おもてなしをしたいと思っています。

Q これからボランティアをやってみようと思う人
ひと言お願いします

まずはゆるい気持ちから始めてみてはいかがでしょう。観光ボランティアガイドの会にも、もっと若い人が入会してほしいと思っています。ガイドをして、市外の人と話すなかで、伊万里の新しい魅力を発見することもできます。SAGA2024をきっかけに一緒に活動してみませんか。

伊万里市手話の会
佐藤 朋子さん

Q 手話を始めたきっかけは何ですか

何かに挑戦したいと思っていたときに、市の公式LINE（ライン）で手話を学ぶことができる講座の案内があり、軽い気持ちで応募したことがきっかけです。

Q 現在どのような活動をされていますか

講座に通い、学習を深めています。昨年までは、自己紹介や日常会話など、手話の基礎を学んでいましたが、現在は、より難しい手話通訳の講座を受講しています。

Q 活動を行うなかでのやりがいは何ですか

聴覚障がいがある人とコミュニケーションが取れることです。手話を使ったコミュニケーションは、相手を見ることから始まり、手の動きだけではなく、表情でも感情を表現するので、お互いに本当の気持ちを伝え合うことができる言語だと思えますし、魅力的だと感じています。

Q SAGA2024で楽しみにしていることを教えてください

全障スポに関わることを自身が楽しみたいと思っていますし、皆さんとたくさんコミュニケーションを取って、楽しさを共有したいと思っています。

Q これからボランティアをやってみようと思う人
ひと言お願いします

手話ボランティアをすることで自分自身得られるものが多いと感じています。耳が聞こえる人、聞こえない人にかかわらず、みんなが簡単な手話を使える世界になってほしいと思っています。まずは気軽に始めてみませんか。



企業協賛

国スポ・全障スポの開催に向けて企業や団体から大会への協賛を募集しています。ここでは、協賛の第1号として、株式会社SUMCOが協賛した歓迎装飾（ウィンドウサイン）を紹介します。



- ① 市民センター文化ホール屋外ガラスの外面に装飾されたウィンドウサインは、縦3m68cm×横10mの巨大なサイズです
- ② ウィンドウサインを寄贈した株式会社SUMCO 龍田次郎代表取締役副社長(右)



『ウィンドウサイン』は、令和5年12月17日に市民センターに設置されました。

12月25日には、協賛に対する感謝状の贈呈式が行われ、株式会社SUMCOの龍田次郎代表取締役副社長が「これを引きっかけに国スポや伊万里が一層盛り上がりつついけばうれしい」と話しました。

皆さん、市民センターを利用するときや近くに来たときは、ウィンドウサインと一緒に写真を撮るなどして、SAGA2024に向けて気持ちを高めていきましょう。

大会開催に向けて

国スポ・全障スポには、全国各地から選手・監督をはじめ大勢の大会関係者が伊万里に見えますが、やはり、選手・監督に対する最高のおもてなしは、市民の皆さんが競技会場へ足を運び、選手・監督に温かい声援を送ってもらうことではないでしょうか。そのためにも、私たちは大会の魅力などを皆さんに伝えていきます。

これから、選手・監督に「また伊万里にきたい」と思ってもらえるような大会になるよう、一丸となって準備を進めていきたいと考えていますので、皆さんは、大会を『観る』『支える』などそれぞれの立場から応援してもらうなど、ご支援とご協力をよろしく願います。



国スポ・全障スポ推進課 課長 松尾 貞裕

大会ボランティア募集

● 応募要件

中学生・義務教育学校の後期課程以上の人で、次のいずれかに該当する人・団体
▽市内に在住・通勤・通学している人

▽市内に活動拠点を有する団体
● 活動内容
競技会場内外の環境美化など

※報酬はありません。交通費は原則自己負担です。

● 申込方法

申込書を応募先に持参または郵送、ファックスするか、市ホームページから申し込んでください。

※18歳未満の人の場合は、保護者の同意が必要です。保護者が押印した書類を提出してください。

協賛企業・団体募集

SAGA2024に協賛する企業・団体を募集しています。

SAGA2024の広報啓発や大会関係者へのおもてなしなど、大会の運営に必要となるさまざまな物品の協賛を願います。

詳しくは問い合わせください。

● 応募・問合せ先

伊万里市民センター2階
国スポ・全障スポ推進課内
SAGA2024伊万里市
実行委員会

☎ 0955-23-2198

FAX 0955-23-4943

メールアドレス

kokuspo@city.imari.

lg.jp



市ホームページ



X (旧 Twitter)



Instagram



Facebook